

緑の風



令和6年11月11日(金)
流山市立おおぐろの森中学校
第3学年 学年通信

～けやき祭・合唱コンクールでの輝き～

10月26日(土)にけやき祭、10月27日(日)に合唱コンクールが開催され、3年生にとっては集大成の行事となりましたが、人の心を動かす素敵な姿が見られました。また、休日にも関わらず、足を運んで下さった保護者のみなさま、YouTube 配信をご覧になられたみなさまに、御礼申し上げます。

けやき祭では、「青少年主張大会のスピーチ」を2組の陽川さん、「英語スピーチコンクール」を4組の山北さんが、日本社会だけでなく、世界情勢に目を向けた力強い発表を行いました。聴いている多くの人達が考えさせられる素晴らしい発表でした。続いて、サプライズ発表として、2組の本庄さんがソロのピアノ演奏を披露し、けやき祭序盤から会場のボルテージを最高潮に盛り上げてくれました。そして、ダンス発表や吹奏楽部の演奏でも表現力豊かに、動きや音の1つ1つが繊細で、美しさや迫力を感じる感動する発表でした。加えて、今回のけやき祭が3年生の旧生徒会執行部にとって最後の運営する行事になりました。そのメンバーが披露してくれたのは、「警察官が事件を解決する」という設定で、本校の学校目標である『自律』を改めて考えさせられる内容でした。3年生の旧生徒会執行部が2年生の新生徒会執行部に次のバトンを渡すというシーンがとても印象的でした。生徒会執行部のみなさんは、これまでたくさんの責任を背負ってきたと思います。最後に、3年生の引継ぎの話しがありましたが、とても多くの成長があったことが伝わってきました。

自分の個性を開示することや意見の表明をすることは簡単なことではないと思います。しかしながら、けやき祭でそれらに一生懸命に挑戦する姿は素晴らしかったです。



合唱コンクールでは、これまでの練習の成果を発揮し、最高学年としての一体感のあるハーモニーを響かせました。結果は、金賞が5組「Chessboard」、銀賞が3組「なんでもないや」となりましたが、どのクラスも「賞を取りたい」という熱い思いが感じられる合唱でした。勝負事には結果がつきものですが、合唱練習を始めて、当日の発表を終えるまでの「過程」の方が「賞を取る、取らない」よりも価値があるものだと思います。合唱委員やパートリーダー、指揮者、伴奏者が中心となって合唱練習を進めていく中で、うまくいかないことの方が多く、時には仲間同士で意見がまとまらないこともあったと思います。また、合唱への意欲も人によって多様な中で、各々がクラスで必要なことをリーダー中心に考え、最善を尽くしました。このように、各クラスの課題に合った練習方法を積み重ね、協働しながら、一つの合唱を作り上げるという経験は大変貴重なものになったと思います。

けやき祭、合唱コンクールにおいて、3学年全体が輝く姿と、様々な表情に大変感動しました。3年生のみなさんはこの後が大切になります。取り組みがよい部分、課題となる部分を振り返ってみてください。人の気持ちを尊重し合いながら、みんなが安心して過ごせる環境をつくっていきましょう。そして、大きな行事が一段落し、既に進路に向けてさらに自分自身と向き合う時間が増えていきます。次の目標を考え、行動していくことができると素敵だと思います。



～目標に向けての準備～

先日は、お忙しい中、三者面談に足を運んで下さり、ありがとうございました。進路に向けて、より自分自身と向き合い、今後どのような生活を送るべきなのかを考えるよい機会になったのではないのでしょうか。

みなさんが目標に向かって一生懸命に取り組んでいる中、世界に目を向けると世界で活躍するアスリートの方々も凄まじい活躍を見せていました。その中でも、先日、ロサンゼルス・ドジャースの4年ぶり8度目のMLBワールドシリーズ制覇に大きく貢献した大谷翔平選手の活躍や思いには感銘を受けた人も多いのではないのでしょうか。大谷選手は、花巻東高校時代に、MLBワールドシリーズ制覇を目標にしており、見事にその目標を実現させました。高校生の大谷選手から現在の大谷選手になるまで、どれほどの努力と準備があったのでしょうか。はじめは無理だと言われていた二刀流を日本で認められ、海外に行ってから怪我を乗り越え、目標を達成するためにドジャースへ移籍するといった難しい選択をし、あの結果を生みました。活躍の裏側には、大谷選手の物事への考え方や食欲さ、目標を達成するために犠牲にしてきたものがあります。例えば、大谷選手は、外食にほとんど行かず、決まった時間にサプリメントを飲みます。睡眠は、毎日10時間以上摂ります。チームメイトが楽しい休日を過ごしている中で、グラウンドで練習をしています。グラウンドにゴミが落ちていたら拾います。チームが劣勢状況の時に一人声を出し続け、チームを鼓舞します。地区シリーズのサンディエゴ・パドレス戦では、3戦先取のシリーズで1勝2敗と後がない状況の中で、「単純に2連勝するゲームだと思えばいい」という非常に前向きな言葉を発したり、2023年のWBC準決勝のメキシコ戦では、終盤で負けている場面でも笑顔でチームメイトに声をかけている姿が印象的でした。本気で目標を達成したいという思いがあれば、最善の準備をし、行動や発言に説得力が含まれ、こだわりのようなものが生まれてくるのではないのでしょうか。

自分自身の今の生活は目標達成への最善の準備になっているでしょうか？学校生活を観ていると頑張っている人はたくさんいます。以前と変わったなと思う人もいます。自分の好きなことや楽しい時間を送ることは必要だと思いますが、何かを得るためには犠牲にしなくてはならないものは少なからずあると思います。辛く、大変な時期ですが、ここを乗り越えれば明るい未来が待っていると私は思います。ただ、苦しいときは一人で抱え込まないことです。信頼できる人や話しやすい人に助けを求めてください。助けを求めることは逃げるのではなく、一つの自己調整力で、必要な力です。自分自身の進路ということもあり、自分のことで精いっぱいになってしまうことがあるかもしれませんが、3学年、学級というチームになって、互いに助け合って目標に向かっていけると素敵だと思います。困っている人がいたら、手を差し伸べてください。全員が気持ちよく卒業を迎えることができるように「最善の準備」をし、互いに切磋琢磨していきましょう。

読書の秋ですね...

「読書の秋」と言われますが、みなさんは読書をしていますか？進路に向けて、忙しい時期だと思いますが、息抜きに読書の機会をつくってみてはいかがでしょうか？ここで1冊、『中村天風の教え』という本を紹介したいと思います。この本は、マンガになっており、どんな人でも読みやすく、考え方1つで人生を豊かにすることができるようなヒントがたくさん紹介されているので、進路に向けて努力しているみなさんが苦しいときや悩んでいるときの心の拠り所になってくれると思います。是非、『人間力』を磨く旅に出てみませんか？